# 委員会の審査状況

## 総務委員会
議案４件を審査

**◆「平成29年度流山市一般会計補正予算（第１号）」の主な意見◆**

①新設小学校の建設は、わが党も求めてきたところであり、建設そのものに反対するわけではありませんが、現在教育委員会が示している建設予定地と学校規模が前提で進んでいくことでは、とても賛成できません。建設予定地は、学区分割の考え方を地域住民に示して地域と議会の協力を得る必要があります。現在、小山小学校と八木北小学校の学区変更でも住民から強い批判が出ており、大畔地区への新設小学校建設による学区変更はさらに議論が巻き起こるものと考えます。

学校規模の問題では、47学級を想定していますが、県内はもとより全国１位、２位を争う過大規模校であり、各地で31学級以上の過大規模校の解消に取り組んでいることを考えれば、この想定自体に問題があり、地域住民からも色々な意見が出てくるのも当然です。そのような段階で、それを前提とする補正予算には賛成できません。また、基本計画は教育委員会が責任をもって策定すべきであり、詳細な設計まで含めて一括業務委託をすべきではありません。

②本案は、新設小学校建設に向けて議会や住民に対する十分な説明責任を果たすため、複数案を作成するための増額補正と認識しています。建設に向けての協議に当たっては、議会も住民も準備が必要ですが、スケジュールが明確でありません。説明についても不十分な印象を受けます。また、この地域は地域自治が確立されていない中でも頑張っていこうとしています。その方々に真摯に説明する気がなければ「学校施設の目指すべき姿」にある「地域と共に歩む拠点としての施設整備」はできないと考えます。円滑な議事運営や合意形成ができるよう、議会や市民に対して、いつ誰がどのような協議や意見交換を行う予定なのか詳細スケジュールを早急に提示することを要望します。

③おおたかの森小学校の児童数の増加に対応するため、平成33年４月に開校予定とする新設小学校建設に係る設計等業務委託を平成29年度から一括発注することで、設計期間の短縮と費用の削減が期待できるため賛成しますが、以下２点を要望します。設計に当たっては、過去に建設された小中学校のメリット、デメリットをきちんと検証した上で、新設小学校として最適な校舎建設に努めること。地域住民への説明については、通学区域に係る住民に対して広く説明を行うこと。

④井崎市政で建設された小山小学校、おおたかの森小中学校については、ともに失敗という状況になってしまいました。二度あることは三度あるでは済まされないとのことで昨年の第３回定例会以降、多くの議員から一般質問等を通じて、この地域における学校建設のあり方について厳しい指摘がありました。執行部として答弁したことを誠実に実行してください。

## 教育福祉委員会
議案２件、陳情３件を審査

**◆「特定疾病療養者見舞金制度の見直しに関する陳情書」の主な意見◆**

①難病者への見舞金は、市単独で支給しているものです。国の対象も広がる可能性がある中で、流山市福祉施策審議会からも「限られた財源の範囲の中で持続可能な制度として存続させていくために、支給額を見直す必要性は理解できる」という答申を平成28年１月26日に受けている経緯があり、決して難病者の方をおろそかにしているというものではないと考えます。今後、難病患者への情報の周知を更に徹底することを要望します。

②特定疾病療養者見舞金制度、指定難病制度における医療費助成については賛同し、守られるべき人たちを救うことは大切であると考えます。流山市としても見舞金は、療養者またはその保護者の闘病、もしくは労苦に報いることを目的としており、今回の制度改革に伴いこれまで同様の制度を維持するには、対象疾病数が拡大する中、財源確保の課題があります。これまでの制度同様の金額継続を求める陳情の趣旨は理解しますが、採択するには難しいと判断しました。子どもの医療費の混同、勘違いがあるとの見解だったので、そういった勘違いをなくすため周知徹底を要望します。

③特定疾病療養者見舞金については、平成28年度予算において国の試算に基づき見舞金対象者数を２倍と想定しましたが、当初見込みよりも申請者数が伸びず、その後減額した補正予算が計上されました。しかし、対象者数の増加については、単年度だけでは判断できないところがあるとの理由で再び平成29年度予算においては、対象者人数の増加分が計上されており、これらの動向を鑑みた時、現時点での見直しは時期尚早であると考えます。

④減額された時には、審査する議案にもなっていない規則の改正であっても、市長の大幅削減案を改善させた市議会の歴史に基づけば、本陳情については、軽々に不採択にするべきではないと考えます。また、減額をする前提として申請者数が２２００人から４４００人へと倍になるという予測でしたが、実際は１８６８人しかいません。予算では、一般会計全体で３００億円程度のものが、現在では５００億円程度へと大幅に増額する一方で、本制度の予算は、８８００万円から４６００万円代へと大幅に減額されており、それらをチェックし、監視し、継承する議会の役割から考えれば、継続審査が妥当であったと考えます。

## 都市建設委員会
議案３件を審査

**◆「流山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する 条例の一部を改正する条例の制定について」の主な意見◆**

①流山市にはＤＥＷＫＳといわれる子育て中の共働き世帯が多い中、最近では多種多様な店があるため、思わぬ店に営業されないよう、想定される店や明るさについての効果を質疑しました。風営法及び建築基準法が改正され、改正法との整合を図ることから、条例の一部を改正することは理解しました。今後、改正風営法に関連する店舗の出店が想定されるため、警察及び関係部署と連携をとるよう要望します。

②本改正理由の1点目は、２０１５年の風営法の改正、ダンスホールやナイトクラブへの規制が大幅に変えられたことと整合させる必要があることにあります。その風営法の改正自体、２００８年に文部科学省の学習指導要領が改正され、小学校・中学校・高等学校等で表現運動・リズムダンスとしてロックダンスやヒップホップダンスなどが体育に導入されたことともに関連しています。今日ではダンス文化は市民に支持され、急速に普及しており、特に若者たちの間では当たり前の表現行動、文化のひとつになっています。まちづくりのあり方も、文化面でのこの動きを反映、それと整合したものとならなければならないと思います。本改正理由の２点目は、平方北部物流施設地区の地区計画が都市計画決定されたことに伴い、建築物の用途等を制限しようというものであり合理的なものであると認められます。

## 監査委員の選任

６月23日には、中川弘議員の監査委員退任に伴う人事案件が追加提出され、海老原功一議員を後任とする議案が同意されました。

○監査委員
海老原　功一　議員
平成29年７月１日就任

## 表彰

第93回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたる地方自治の発展に尽くされた功績により、本市議会議員が表彰されました。

被表彰者は次のとおりです。

○議長在職４年以上
海老原　功一　議員

○議員在籍10年以上
徳増　記代子　議員

## 議長の主な公務

5月24日　全国市議会議長会定期総会（東京都千代田区）
5月30日　東葛都市議会連絡協議会定例会議（我孫子市）
7月3日　江戸川改修促進期成同盟会総会（野田市）

## ようこそ流山市議会へ

5月16日から8月15日までの間に、議会改革等について行政視察にお越しいただいた皆さまです。

・滋賀県守山市議会
・京都府長岡京市議会
・千葉県松戸市議会
・滋賀県大津市議会
・愛知県瀬戸市議会
・千葉県八街市議会
・愛知県田原市議会

## 次回定例会のお知らせ

**平成29年第３回定例会**は、次の会期日程（案）のとおり開催される予定です。

**平成29年第３回定例会会期日程（案）**

| | | |
|---|---|---|
| 8月31日 | （木） | 本会議　午後１時開議 |
| 9月5日 | （火） | 本会議（一般質問）午前10時開議 |
| 6日 | （水） | 〃 |
| 7日 | （木） | 〃 |
| 8日 | （金） | 〃 |
| 11日 | （月） | 総務常任委員会 |
| 12日 | （火） | 教育福祉常任委員会 |
| 13日 | （水） | 市民経済常任委員会 |
| 14日 | （木） | 都市建設常任委員会 |
| 19日 | （火） | 決算審査特別委員会 |
| 20日 | （水） | 〃 |
| 21日 | （木） | 〃 |
| 25日 | （月） | 〃 |
| 10月2日 | （月） | 本会議　午後１時開議 |